

償還運用報告書（全体版）

イーストスプリング 韓国株式オープン

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2006年1月31日から2017年4月3日まで (当初、無期限)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主に韓国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ]」の韓国ウォン建て受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（10月31日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

繰上償還

第12期（償還日 2017年4月3日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング韓国株式オープン」は信託約款の規定に基づき、2017年4月3日をもちまして繰上償還いたしました。ここに、運用状況と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	投資信託証券 組入比率	純 資 産 額 総 額
8期 (2013年10月31日)	10,186	1,000	35.4	93.3	605
9期 (2014年10月31日)	11,753	1,000	25.2	85.6	550
10期 (2015年11月2日)	12,580	0	7.0	92.6	391
11期 (2016年10月31日)	9,864	0	△21.6	91.6	283
(償 還 時) 12期 (2017年4月3日)	(償還価額) 10,733.16		8.8	—	292

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

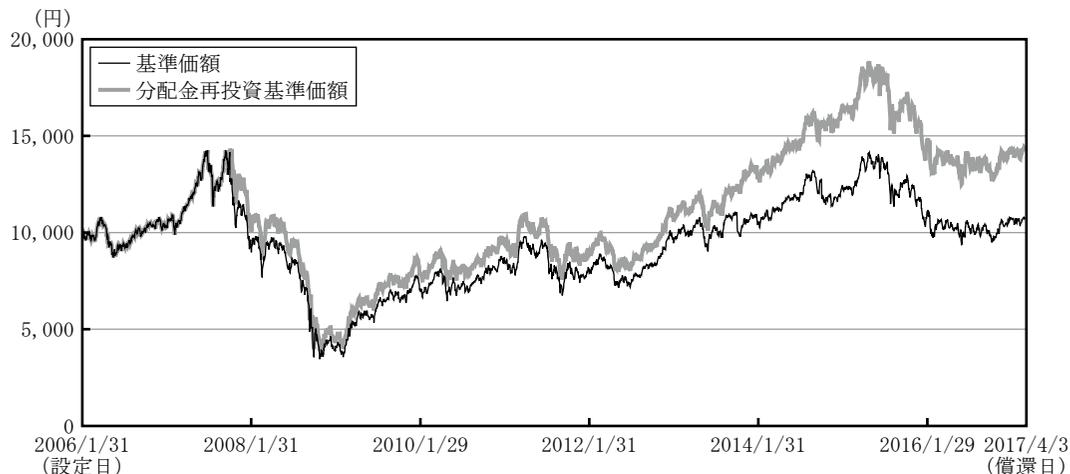
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投資信託証券 組入比率
(期 首) 2016年10月31日	9,864	—	91.6
11月末	10,160	3.0	90.6
12月末	10,375	5.2	89.4
2017年1月末	10,691	8.4	90.8
2月末	10,622	7.7	90.4
3月末	10,735	8.8	—
(償 還 時) 2017年4月3日	(償還価額) 10,733.16	8.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

設定以来の運用経過

基準価額等の推移について(2006年1月31日(設定日)から2017年4月3日(償還日)まで)



設定日	10,000円
償還日	10,733円16銭(既払分配金3,500円)
騰落率	43.1%(分配金再投資ベース)

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

設定来で基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。設定当初から2007年後半にかけては韓国株式市場の上昇、対円での韓国ウォン高を背景に基準価額は堅調に推移しました。その後2008年後半にかけては米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安を受けて韓国株式市場の下落および急激な円高ウォン安から基準価額は大きく下落しました。2009年から2011年前半にかけては韓国株式市場の上昇、2012年の年末から2015年にかけてはウォン高円安が基準価額の上昇要因となりました。2015年半ば以降、ウォンが対円で下落したことから基準価額は下落し、償還まで概ね横ばいでの値動きとなりました。

投資環境について

○海外株式市況

設定当初から韓国株式市場は堅調な推移が続きましたが、2008年後半には米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安によるリスク回避的な動きが発生したことで株式市場は大きく下落しました。その後各国の金融危機対策などの取り組みを受けて株式市場は落ち着きを取り戻し、2009年3月以降反発に転じた後は海外投資家からの資金流入にも支えられ、堅調に推移しました。その後は2011年8月の米国債の格下げ、2013年5月のバーナンキ米連邦準備制度理事会（FRB）議長による量的緩和の早期縮小示唆や2015年8月の中国人民元切り下げを受けて株式市場は一時的に調整する場面が見られたものの、米国を中心とする世界的な景況感の改善などを背景に韓国株式市場は堅調な相場展開が続きました。

○為替市況

米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安の拡大により世界的な規模で質への逃避が見られたことから、2008年夏以降、韓国ウォンは対米ドル、対円ともに大幅に下落し、その後欧州債務危機の深刻化などを背景に円が選好されてウォンの下落傾向は続きました。2011年12月の日本の衆議院選挙で自民党が勝利してからは、円高是正に対する政策強化の思惑や日銀の金融緩和強化などを受け大幅に円安が進み、ウォンは対円で大きく上昇しました。2014年後半以降は原油価格の大幅下落を受けて世界的にリスク回避姿勢が高まり、ウォンは対米ドルで下落しましたが、2014年10月の日銀による追加緩和決定を受けて円安がさらに進行したため、対円では上昇が続きました。2016年に入ると、欧州金融不安や原油安から円高傾向が強まりウォンは対円で下落しました。11月の米国大統領選挙後には新興国からの資金流出懸念によりウォンは対米ドルでは下落しましたが、同時に円安が大幅に進行したことから対円では上昇しました。

○国内債券市況

2008年の米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安を背景として国内景気の減速懸念、主要国の利下げ等により10年国債利回りは低下（価格は上昇）傾向となり、2010年前半以降は欧州債務危機への懸念から質への逃避が見られ、再度低下基調となりました。2013年には米国の量的緩和の縮小懸念、2014年のウクライナ情勢の悪化、2015年の中国人民元切り下げなどから利回りは低下傾向が続き、2015年の年末には10年国債利回りは0.2%台まで低下しました。2016年1月に日銀がマイナス金利政策の導入を決定した後は、長期国債買い入れオペによる需給逼迫化を背景に底堅い展開となり、利回りは-0.2%台まで低下しました。7月末以降は国債買い入れ減額への警戒感や米国大統領選挙後の米長期金利の上昇を受けて利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダース・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト[エクイティ]（以下「インダストリー・リーダース・セキュリティーズ[エクイティ]」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。なお、当ファンドの償還に向けて、2017年3月下旬以降、組入ファンドを全売却しました。

○インダストリー・リーダース・セキュリティーズ[エクイティ]

韓国株式を主要投資対象とし、割安と考える銘柄に分散投資を行い、リスクの低減を図りつつベンチマークである韓国総合株価指数(KOSPI)を上回るリターンの獲得を目指して運用を行いました。2009年以降、米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安が落ち着きを見せる中、韓国株式市場が反発する局面で自動車株を保有していたこと、また2013年に米国の量的緩和縮小懸念などの外部要因により株式市場が上下動する中で食品飲料、医薬品セクターで高い潜在成長力を持つと考えられる株式を買い増したことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。当ファンドの信託期間における基準価額は上昇しました。2013年4月に日銀が量的・質的金融緩和と政策を導入して以降、日銀による国債買入れを背景に国債市場が堅調に推移する中でデュレーションを長めに維持したことなどがプラス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案して、信託期間中、累計で3,500円の分配を行いました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドにつき一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/11/1 ～2017/4/3		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	49円	0.467%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,407円です。
（投信会社）	(14)	(0.134)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(33)	(0.319)	
（受託会社）	(1)	(0.014)	
(b) 有価証券取引税 （投資信託証券）	25 (25)	0.238 (0.238)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 （保管費用）	8 (6)	0.077 (0.058)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等 余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
（印刷）	(2)	(0.018)	
（その他）	(0)	(0.001)	
合計	82	0.782	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

売買及び取引の状況

（2016年11月1日から2017年4月3日まで）

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
国内		イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	千口 —	千円 —	千口 568	千円 620
外国	韓国ウォン建 韓国	イーストスプリング・インベストメンツ・ インダストリー・リーダーズ・ セキュリティーズ・インベストメント・ トラスト [エ ク イ テ ィ]	千口 142,000	千韓国ウォン 120,000	千口 3,436,550	千韓国ウォン 3,015,778

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2016年11月1日から2017年4月3日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2017年4月3日現在)

償還時における有価証券の組入れはありません。

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	償 還 時		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債)追加型I(適格機関投資家向け)	568	—	—	—
合 計	568	—	—	—

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	口 数	償 還 時		比 率
			評 価 額		
	口 数	口 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千韓国ウォン	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダー ス・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト[エクイティ]	3,294,550	—	—	—	—
合 計	3,294,550	—	—	—	—

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2017年4月3日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 293,861	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	293,861	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2017年4月3日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	293,861,662円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	293,861,662
(B) 負 債	1,487,408
未 払 信 託 報 酬	1,428,183
未 払 利 息	714
そ の 他 未 払 費 用	58,511
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	292,374,254
元 本	272,402,867
償 還 差 益 金	19,971,387
(D) 受 益 権 総 口 数	272,402,867口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額 (C / D)	10,733円16銭

(注) 元本の状況
 期首元本額 287,575,924円
 期中追加設定元本額 42,591,677円
 期中一部解約元本額 57,764,734円

損益の状況

当期 (自2016年11月1日 至2017年4月3日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 11,505円
受 取 利 息	417
支 払 利 息	△ 11,922
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	23,758,480
売 買 益	24,636,501
売 買 損	△ 878,021
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,661,503
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	22,085,472
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 17,695,358
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	15,581,273
(配 当 等 相 当 額)	(191,096,044)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△175,514,771)
償 還 差 益 金 (D + E + F)	19,971,387

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2006年1月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年4月3日		資 産 総 額	293,861,662円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	1,487,408円
受益権口数	1,697,243,101口	272,402,867口	△1,424,840,234口	純 資 産 総 額	292,374,254円
元 本 額	1,697,243,101円	272,402,867円	△1,424,840,234円	受 益 権 口 数	272,402,867口
				1 万口当たり償還金	10,733.16円
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 1 期	3,051,477,427	3,051,902,318	10,001	0	0.0000
第 2 期	1,118,677,452	1,412,513,600	12,627	1,500	15.0000
第 3 期	1,122,101,210	534,791,304	4,766	0	0.0000
第 4 期	1,363,849,874	887,337,257	6,506	0	0.0000
第 5 期	1,726,416,471	1,311,858,519	7,599	0	0.0000
第 6 期	2,044,394,186	1,720,729,710	8,417	0	0.0000
第 7 期	1,275,431,854	1,053,961,346	8,264	0	0.0000
第 8 期	593,976,611	605,052,346	10,186	1,000	10.0000
第 9 期	468,134,524	550,186,327	11,753	1,000	10.0000
第 10 期	311,605,747	391,994,391	12,580	0	0.0000
第 11 期	287,575,924	283,675,731	9,864	0	0.0000

■償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税引前)	10,733円16銭
------------------	------------

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ]	
形態	韓国籍外国投資信託／オープン・エンド型	
表示通貨	韓国ウォン	
運用の基本方針	韓国株式を主要投資対象とし、割安な銘柄に分散投資することで、リスク調整後のリターンが継続的にベンチマークを上回ることを目的とした運用を行います。	
主な投資対象	韓国の金融商品取引所に上場されている株式	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の60%以上とします。 ・債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の35%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。（当該株式の時価総額の比率が市場時価総額の10%を超える場合を除きます。） ・投資信託証券への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。（上場されている投資信託を除きます。） 	
ベンチマーク	韓国総合株価指数（KOSPI）	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・アセット・マネジメント・コリア・カンパニー・リミテッド
	受託会社	National Agricultural Cooperative Federation
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.325%	
その他の費用・手数料	組入価証券の売買時に発生する売買委託手数料等および監査費用等がかかります。	
設定日	2002年4月18日	
決算日	毎年4月17日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	BofAメリルリンチ国債インデックス（1－10年債）※	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.216%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※ バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

「イーストスプリング韓国株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ]」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2016年4月17日を基準日とする財務諸表（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ] の内容

財務状態表

第14期：2016年4月17日現在

第13期：2015年4月17日現在

(単位：韓国ウォン)

科 目	第14 (当) 期	第13 (前) 期
	金 額	金 額
資産		
Ⅰ. 運用資産	(21,559,583,158)	(59,047,586,783)
1. 現金及び預金	116,121,758	442,963,833
(1) 現金及び現金性資産	116,121,758	442,963,833
2. 有価証券	21,443,461,400	58,604,622,950
(1) 株式 (注釈)	21,443,461,400	58,604,622,950
Ⅱ. その他の資産	(220,593,522)	(4,403,949,273)
1. 有価証券売却未収入金	169,701,023	4,376,091,148
2. 未収利息	76,796	1,837,034
3. 未収配当金	50,815,703	26,021,091
資産合計	21,780,176,680	63,451,536,056
負債		
Ⅰ. その他負債	(169,802,227)	(15,217,557,664)
1. 未払分配金	—	11,176,182,851
2. 有価証券買付未払金	109,942,672	591,320,364
3. 未払解約金	30,707,339	3,404,880,569
4. 未払手数料	29,123,316	42,914,960
5. その他未払金	28,900	2,258,920
負債合計	169,802,227	15,217,557,664
純資産		
Ⅰ. 元本	24,996,365,482	48,233,978,392
(総口数： 当期：24,996,365,482口 前期：48,233,978,392口)		
Ⅱ. 欠損金	(3,385,991,029)	—
(1,000口当たり 基準価格： 当期：Class C-F 866.46ウォン 前期：Class C-F 1,000.00ウォン)		
純資産合計	21,610,374,453	48,233,978,392
負債及び純資産合計	21,780,176,680	63,451,536,056

別添の注釈は本財務諸表の一部です。

損益計算書

第14期：2015年4月18日から2016年4月17日まで

第13期：2014年4月18日から2015年4月17日まで

(単位：韓国ウォン)

科 目	第14 (当) 期	第13 (前) 期
	金 額	金 額
I. 運用収益	(2,152,658,814)	9,290,815,911
1. 投資収益	(277,389,823)	(349,047,521)
(1) 利息	5,137,513	21,489,087
(2) 配当金	271,427,283	327,546,713
(3) その他収益	825,027	11,721
2. 売買益及び評価益	(4,909,401,094)	(13,438,201,349)
(1) 有価証券売買益	4,400,014,528	7,099,794,687
(2) 有価証券評価益 (注釈)	509,386,566	6,338,406,662
3. 売買損及び評価損	(7,339,449,731)	(4,496,432,959)
(1) 有価証券売買損	5,129,861,620	3,885,652,122
(2) 有価証券評価損 (注釈)	2,209,588,111	610,780,837
II. 運用費用	165,134,717	195,919,997
1. 運用手数料	84,278,898	98,167,872
2. 販売手数料	64,807,065	76,878,598
3. 受託手数料	10,113,464	11,780,140
4. 事務受託手数料	5,056,730	5,890,067
5. その他費用	878,560	3,203,320
III. 当期純利益 (損失)	(2,317,793,531)	9,094,895,914
1,000口当たり当期純利益 (損失)	(65.74)	249.45

別添の注釈は本財務諸表の一部です。

注釈

有価証券明細表

2016年4月17日現在、有価証券の内容は、次のとおりです。

(単位：韓国ウォン)

名称	数量	取得原価	帳簿価額 (=公正価値)
有価証券市場			
Samsung Electronics	2,144	2,759,771,619	2,787,200,000
Korea Zinc	3,745	1,749,171,119	1,870,627,500
AmorePacific	4,324	1,626,384,257	1,733,924,000
AmorePacific Group	9,596	1,501,189,221	1,458,592,000
Hanssem	6,334	1,575,990,673	1,292,136,000
Hana Tour	12,690	1,527,336,159	1,148,445,000
CJ	5,470	1,247,566,015	1,104,940,000
NAVER Corp	1,636	1,015,489,578	1,101,028,000
SI Corporation	9,788	857,255,247	900,496,000
Korea Aerospace Industries	12,394	922,532,730	847,749,600
CJ Korea Express	4,251	798,251,832	799,188,000
Hotel Shilla	11,258	1,100,956,510	777,927,800
LG Hausys	5,086	826,779,621	709,497,000
Korea Investment Holdings	14,079	877,349,463	634,962,900
Shinsegae International	6,220	756,569,311	463,390,000
Hyundai Motors	2,666	407,896,545	403,899,000
Nongshim	1,052	438,073,778	400,812,000
Hanhwa Techwin	7,418	270,682,044	310,072,400
Hyundai Mobis	1,138	275,932,071	274,258,000
CJ CheilJedang Corp	714	291,530,905	258,111,000
Korea Electric Power Corporation	3,907	201,125,860	230,903,700
Samsung Fire & Marine Insurance	693	208,003,245	207,207,000
Shinhan Financial Group	4,739	202,566,320	197,853,250
LG Chem	476	135,414,630	159,460,000
NCSOFT	611	140,516,756	148,778,500
Hyundai Motors - pref	1,387	154,238,921	140,780,500
Yuhan Corporation	385	98,749,297	119,735,000
Grand Korea Leisure	4,343	147,880,680	115,958,100
Hyundai Glovis	500	104,333,882	92,500,000
Kiwoom Securities	1,307	91,598,023	83,778,700
LIG Nex 1	780	83,561,117	79,560,000
Samsung C&T Corporation	433	65,930,140	61,702,500
Hanmi Pharm.	49	31,495,837	32,095,000
SK Hynix	791	32,994,239	21,871,150
Korea Plant Service & Engineering	287	21,092,967	20,003,900
Hyundai Engineering & Construction	55	2,018,958	2,205,500
有価証券市場 合計	142,746	22,548,229,570	20,991,649,000
コスダック市場			
CJ E&M	4,919	401,884,211	324,162,100
Paradise	6,459	155,472,093	105,281,700
HIZEAERO	2,193	38,077,071	22,368,600
コスダック市場 合計	13,571	595,433,375	451,812,400
合計	156,317	23,143,662,945	21,443,461,400

「イーストスプリング韓国株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/2/26 ～2017/2/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.217%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,968円です。
（投信会社）	(15)	(0.141)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.054)	
(b) その他費用	6	0.052	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(6)	(0.051)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	30	0.269	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2017年2月27日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	738,000	804,874	99.0	—	42.2	40.7	16.1	
合計	738,000	804,874	99.0	—	42.2	40.7	16.1	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	第112回 利付国債（5年）	0.4	40,000	40,358	2018/06/20
	第285回 利付国債（10年）	1.7	80,000	80,080	2017/03/20
	第298回 利付国債（10年）	1.3	10,000	10,284	2018/12/20
	第300回 利付国債（10年）	1.5	8,000	8,287	2019/03/20
	第301回 利付国債（10年）	1.5	25,000	25,998	2019/06/20
	第305回 利付国債（10年）	1.3	7,000	7,295	2019/12/20
	第306回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,972	2020/03/20
	第310回 利付国債（10年）	1.0	25,000	26,041	2020/09/20
	第311回 利付国債（10年）	0.8	50,000	51,725	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	26,483	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	21,165	2021/06/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	43,378	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	55,085	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	44,302	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	32,627	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	55,973	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	51,264	2024/03/20
	第69回 利付国債（20年）	2.1	40,000	46,135	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	23,410	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	58,000	68,170	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	65,833	2026/03/20
合 計			738,000	804,874	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。